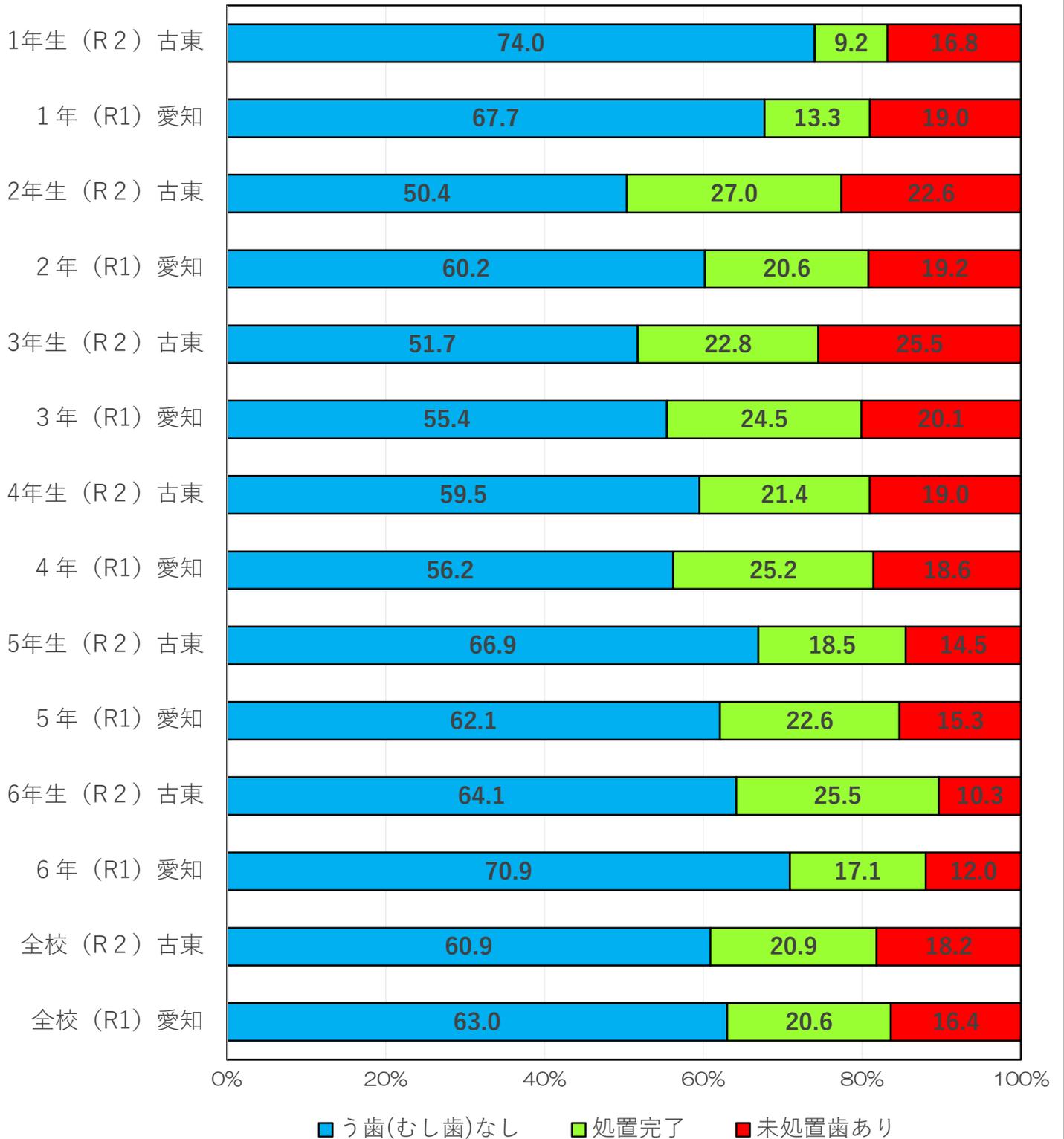
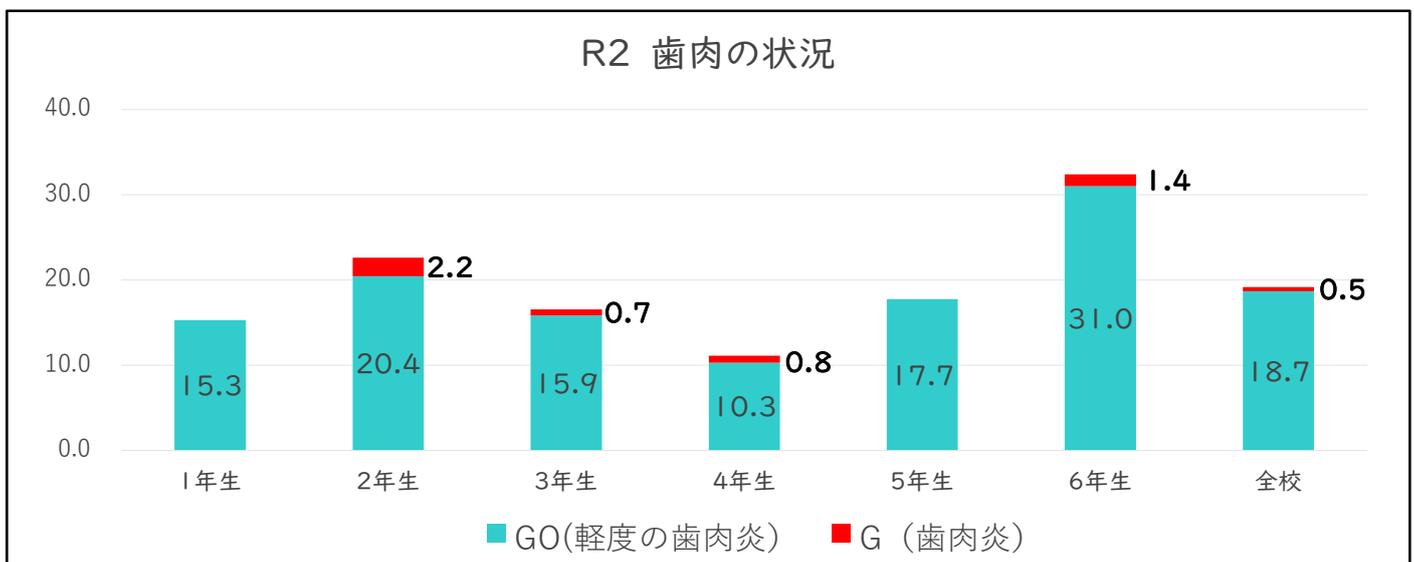
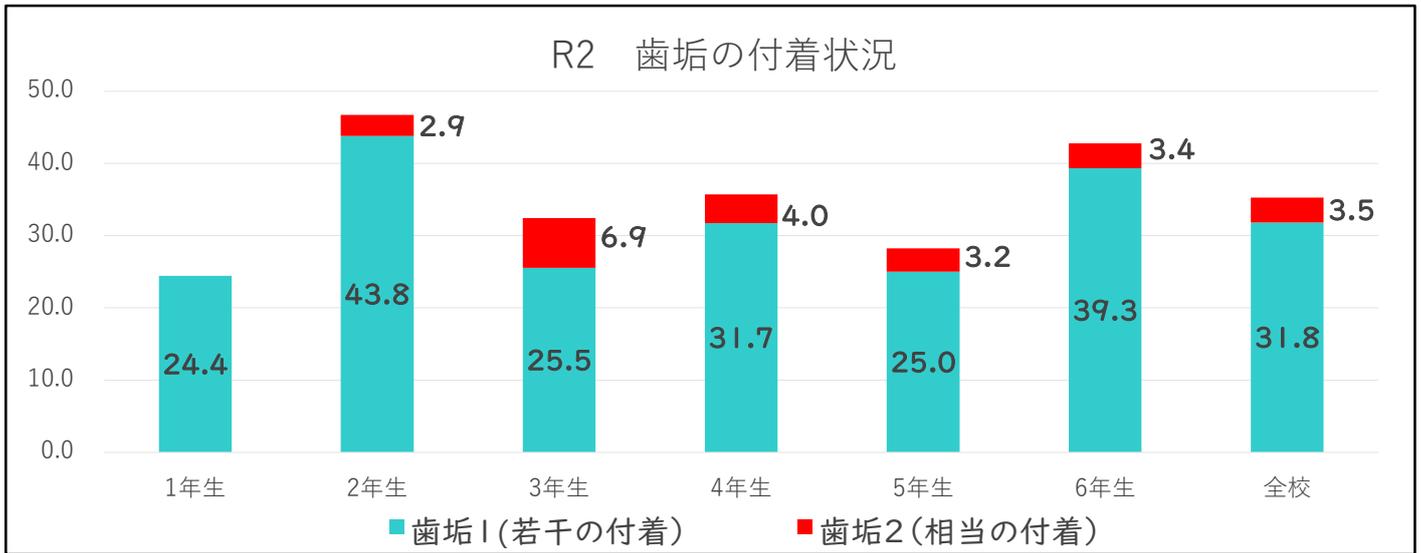


今年度の歯科検診結果をお知らせします。

R2年度 古東小 う歯（むし歯）状況 愛知県（R1年度）との比較





歯科検診の結果、全校で35.3%の児童に歯垢の付着がありました。また、19.2%の児童に歯肉に炎症が見られました。歯垢付着や歯肉の炎症は、毎日のていねいな歯みがきで改善できます。朝、夜は鏡の前でていねいな歯みがきを心がけましょう。

ただ、小学生は頑張ってみがいても、まだまだブラッシング技術が未熟で、みがき残しがある場合があります。子どもたちの大切な歯と口の健康づくりのために、お家の人の仕上げみがきのご協力をお願いします。

学校歯科医の夫馬先生より。歯科検診を終えて…

全体的に歯肉炎が多い印象を受けました。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などで、生活リズムが乱れてしまっていた可能性があります。お口の環境は、歯磨き習慣の乱れだけでなく、夜更かしや睡眠時間の短縮、三食の食事をするタイミングの乱れにも影響すると言われています。今一度、生活リズムを見直し、歯磨きは朝と晩にするようにしましょう。

